

(資源エネルギー・持続可能社会に関する調査会)

原子力等エネルギー・資源、持続可能社会に関する調査報告(中間報告)要旨

本調査会は、原子力等エネルギー・資源、持続可能社会に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、令和四年十月三日に設置された。

本調査会は、三年間の調査テーマを「資源エネルギーの安定供給確保と持続可能社会の調和」とし、調査の一年目においては「資源エネルギーと持続可能社会をめぐる情勢」を調査項目として取り上げ、「ロシアのウクライナ侵略による新たな局面と資源エネルギー情勢」、「資源エネルギーの新たな局面と日本への影響」及び「エネルギーや気候変動などSDGsをめぐる日本の情勢」について、参考人から意見を聴取し質疑を行った。続いて、政府から説明を聴取し質疑を行うとともに、委員間の意見交換を行った後、これらを調査報告書(中間報告)として取りまとめ、令和五年六月七日、議長に提出した。

本報告書においては、これまでの調査の概要をまとめるとともに、主な議論を「ロシアのウクライナ侵略と資源エネルギー」、「資源エネルギー政策」、「再生可能エネルギー・省エネルギー等」、「原子力政策」及び「SDGs・持続可能社会・気候変動」という五つの主要論点に着目して整理している。